

Prime Photonics社は、翼端タイミング(BTT)計測用に多数のオプティカルプローブを製造しています。プローブの種類はアプリケーションにより異なります。

レンズ付き 及び レンズ無し プローブ

レンズ無しプローブは最もシンプルなタイプのプローブです。プローブの先端は、光ファイバーの研磨端です。これらのプローブは、通常0.5~6.3mmの短距離計測用に使用されます。

レンズ付きプローブは、光を特定の焦点に集束させるためのレンズシステムを備えています。プローブの計測範囲は、送信レーザー信号と受信信号がオーバーラップする範囲に基づいて決定されます。計測範囲はカスタマイズすることができます。レンズ付きプローブは主に長距離計測用アプリケーションに使用されます。

レンズ付きプローブは、汚れに対して耐性があり、クリーニングが容易であるという利点があります。タービンステージのような汚染物質が存在する環境での使用に適しています。

プローブの形状

最も一般的な形状は、ブレード先端を計測するための軸状のプローブです。

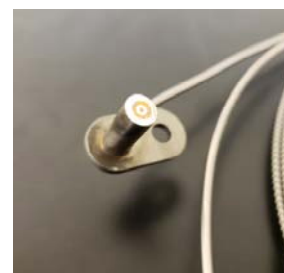
90度角プローブは、プローブヘッドの背面のハードケーブルを直角に引き出すことにより高さを低くすることができ、設置及び取り外しの際、高さが制限されている狭いスペースで使用されます。

レンズ付きプローブは、プローブ軸に対して0~90°の見下ろし角度で設計できます。Prime Photonics社は、45度角プローブ 及び 90度角の潜望鏡型プローブも標準品として製造しています。

プローブの使用環境

レンズ付きプローブは、冷却なしで最大590°Cまでの連続作動温度に対応しています。レンズ無しプローブは、700°Cの連続作動温度に対応しています。

プローブにガス冷却ラインを取り付けることにより、冷却機能を持たせるばかりでなくクリーニング機能も持たせることができます。



(左上) 極細径 レンズ無しプローブ
(右上) 90度角プローブ
(左下) 潜望鏡型プローブ
(右下) レンズ付きプローブ

ご要求プローブについて下記仕様をご連絡願います。

プローブ先端の寸法、特に直径と長さ

プローブ先端及びケーブルの使用環境(特に最高温度)

プローブ取り付け方法(フランジ 又は 他のインターフェース)

ケーブルの長さの種類(リジッド、フレキシブルなど)

ケーブル引き回しルートの詳細

コネクタタイプ(FC、ST、SMAなど)

PRIME PHOTONICS

1116 South Main Street Blacksburg, VA, 24060, USA

E-mail: info@primephotonics.com

URL: www.primophotonics.com

Tel: +1 540 961 2200



株式会社 インターナショナル・サーボ・データ

e-mail: araiyuki@idsystems.co.jp

〒164-0012

東京都中野区本町4-46-9 オーチャー第6ビル 4階

Tel: 03-6382-4350 Fax: 03-6382-4351

URL: <https://idsystems.jp>